

 **Kashimura**

KW-65 自動開閉式ワイヤレス充電ホルダー
自動回転 / 4 角ホールド 吸盤取り付け

取扱説明書

取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けで使用ください。



同梱品

- 本体
- Type-Cコネクタ電源ケーブル
- マウント角度アダプタ
- 取付用プレート

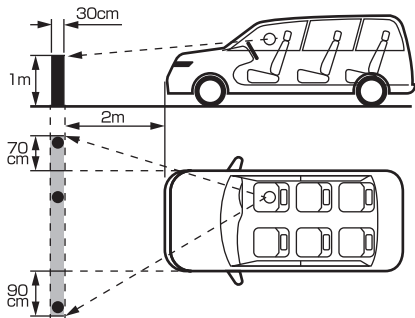
取付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

前方視界基準

<基準概要>

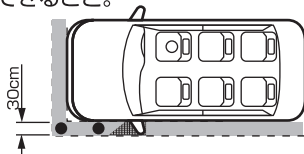
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

<基準概要>

自動車の前面及び左側面（左ハンドル車にあっては右側面）に接する高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



■ : 運転視界基準エリア

● : 高さ 1m、直径 30cm の円柱

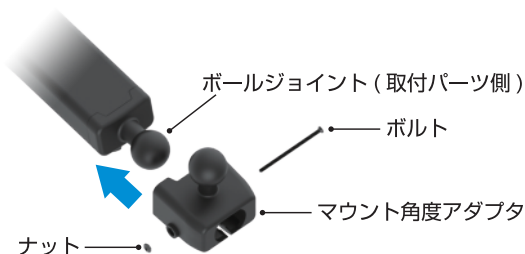
▨ : 適応外エリア

A ビラー及び室内後写鏡により
視界が遮られるエリア

取付方法

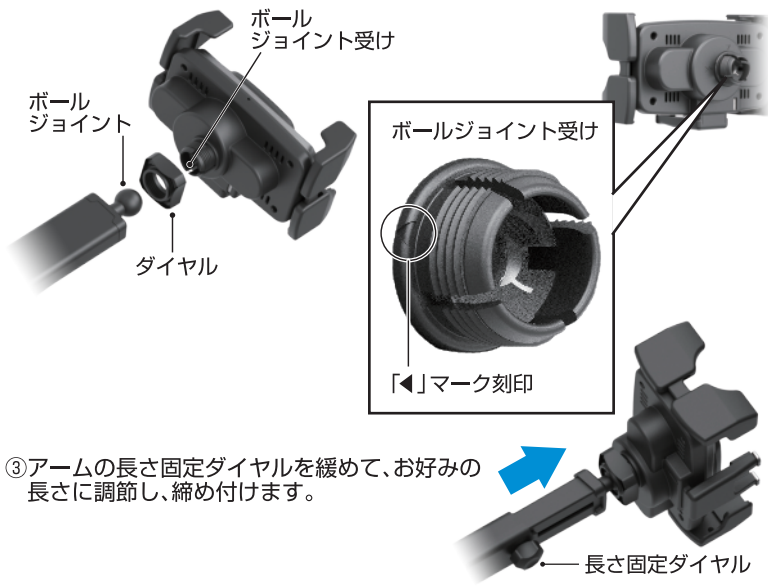
- ① 付属のマウント角度アダプタを使って取付ける場合、取付パーツ側のボールジョイントに、アダプタをお好みの向きで装着し、付属のボルトとナットで締め付けます。

※
マウント角度アダプタを使わずに取付ける場合は、手順②へ進みます。



- ② 取付パーツ (またはマウント角度アダプタ) のボールジョイントを、ダイヤルに通してから、ボールジョイントをホルダー背面のボールジョイント受けに挿し込み、ダイヤルで締め付けます。

※ **ボールジョイント受けの「◀」マーク刻印が右座席側**となるように固定してください。



- ④本製品の電源ケーブルの Type-C 端子を本製品に接続します。

※右図の向きに接続してください。
逆向きに接続すると、自動回転動作の妨げとなる場合があります。

- ⑤取付場所（お車のダッシュボード等）の汚れや油分を 拭き取ります。

※ホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。

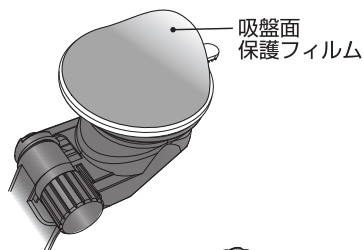
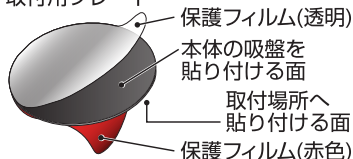
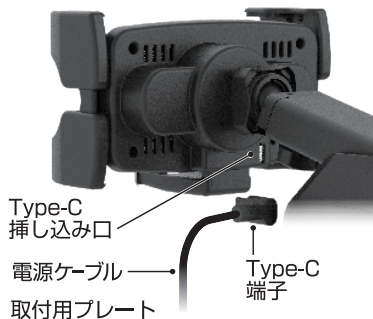
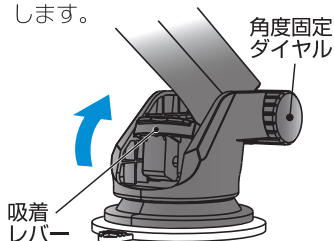
※本製品のホルダー部分の自動開閉 / 自動回転の動作を妨げない取付場所としてください。

- ⑥本製品に付属の取付用プレートの保護フィルム（赤色）を剥がし、取付場所にしっかりと取付用プレートを貼り付けます。

※曲面への貼り付けは避けてください。

- ⑦本製品の角度固定ダイヤルを緩め、吸着レバーを真上まで上げます。また、吸盤面の保護フィルムを剥がします。

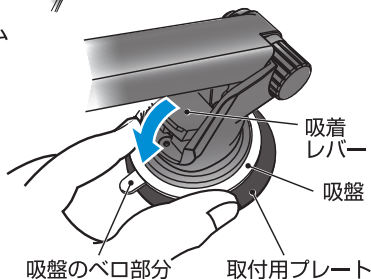
※吸盤面に触れないようご注意ください。吸盤面が汚れると吸着力が低下します。



- ⑧取付用プレートの表側の保護フィルム（透明）を剥がします。

- ⑨吸盤を取付用プレートに強く押し付けながら、吸着レバーを下げます。

※取外す場合は、吸着レバーを真上まで上げ、取付用プレートを押さえながら吸盤のベロ部分を持って、吸盤をゆっくりと剥がします。



使用方法

- ①本製品の付属ケーブルのUSB端子をUSB電源に接続します。
本製品が起動して、側面のインジケータが緑点灯します。



- ※本製品に USB 電源は付属しておりません。
- ※本体に接続する USB 電源は、定格 5V2A または QuickCharge2.0 以上をお使いください。5V2A 未満の電源に接続すると、充電できない、または充電に時間がかかる場合があります。
- ※7.5W/10W/15W 急速ワイヤレス充電には QuickCharge2.0 以上の電源が必要です。
- ※端末や充電環境によっては 7.5W/10W/15W 充電できない場合があります。
- ※付属ケーブルの端子はしっかり奥まで挿し込んでください。
- ※インジケータの点灯色と意味
緑点灯：本体通電中、青点灯：ワイヤレス充電中、青緑点滅：異物検出等の保護動作時

- ②初めて端末をホールドする場合は、下図のように各部を調節します。
2 回目以降は、本製品に端末をかざすだけでホールドできます。



- ※本製品の近接センサーの付近に端末をかざすと、左右アームが自動で開き、数秒後に閉じます。
- ※ホールド可能な端末サイズ：長辺 約111~170mm/ 短辺 約64~80mm
- ※端末をホールドすると本製品のインジケータが青点灯し、充電を開始します。
- ※本製品の起動から数秒後に、近接センサーが反応可能となります。
- ※端末やケースの短辺・長辺が均一でない場合、または端末のカメラ部分が大きい場合、本製品で正常にホールドできない場合があります。
- ※本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。
- ※充電しない場合やインジケータが青緑点滅(異物検出時等)した場合は、端末を本製品から一旦離し、本製品のインジケータが緑点灯後に再度充電してください。
- ※端末側の充電開始または充電完了の表示に関しましては、端末の取扱説明書をご確認ください。
- ※充電時間は端末や充電環境により異なります。
- ※正しく充電できない場合は、グリップや補助足、および端末位置を再度調節してください。

③端末の縦置き/横置きを切り替える場合は、回転ボタンをタッチ（約0.5秒）すると、本製品が90°回転します。

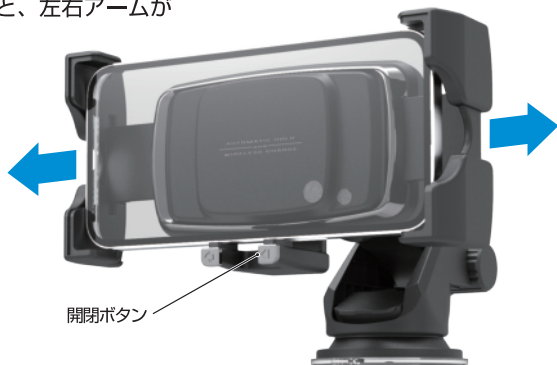
※横置き⇒縦置き：右回転

※縦置き⇒横置き：左回転



※横置き時に水平（または縦置き時に垂直）にならない場合は、「取付方法」の手順②に従って、ボールジョイント受けの「◀」マーク刻印が右座席側となるように、ホルダー部分の固定の向きを再度調節してください。

- ④取外す場合は、開閉ボタンをタッチ（約 0.5 秒）すると、左右アームが自動で開きます。



- ※左右アームの開閉は、本製品へ電源供給中（車がエンジン ON の状態）に行ってください。
- ※本製品にキャパシタを内蔵しているため、電源供給の停止後も、数回のアーム開閉ができます。
（回数は使用環境によって異なります。）
（電源供給を短時間で停止後は、アーム開閉できない場合があります。）
- ※開閉ボタンには取り外す時以外は触れないでください。端末が落下する恐れがあります。
- ※電源が入っていない時に無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。
- ※端末をホールドしたままエンジン ON/OFF をした際、端末 / 車種 / 充電環境によっては左右アームが開く場合がありますので、ご注意ください。
- ※本製品のホルダー部分の上下向きを垂直～下向きに設置した場合、左右アームが開いた際に端末が落下する場合がありますのでご注意ください。
- ※左右アームが開いた状態で回転ボタンをタッチすると、回転して端末が落下する場合がありますのでご注意ください。

ご 注 意

- 本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面には取付けできません。
- 取付けには必ず付属の取付用プレートを使用してください。取付箇所やその周辺は、取付跡が残ったり、接着剤成分やゲル成分が付着する可能性があります。
- 本製品の吸盤は、硬い樹脂製以外の材質（やわらかいウレタン入り・レザー・スウェード・布地等）のダッシュボードには、破損・変色の恐れがありますので取り付けないでください。
- 曲面がきつい場所、大きな凹凸がある場所、本革、合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボードには貼り付けないでください。ダッシュボードの取付け面が破損したり、取付け跡等が残ったりするおそれがあります。
- 水平面に取付用プレート・吸盤の全面を取り付けてください。また、ご使用前には本製品がしっかり固定されていることを確認ください。
- 端末（スマートフォン）がワイヤレス充電（Qi）に非対応の場合、またはスマートフォンケースが極端に厚い場合、または手帳型ケースを折り返した状態では、充電・自動ホールド・自動回転ができない場合があります。
- 本製品にワイヤレス充電（Qi）対応の端末以外を置かないでください。
- 磁気カードや磁気記録メディア・精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、本製品に置かないでください。
- 端末を置く位置によっては適切な充電ができない場合があります。
- 充電中に通信品質やワンセグ受信状態などが悪くなることがあります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は離れた場所でお使いください。
- ワイヤレス充電器同士を近づけないでください。端末を検出できず充電できない場合があります。
- 端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加える等、端子への負荷はかけないでください。
- 付属の電源ケーブルは本製品以外では使用しないでください。
- お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。
- 使用にあたっては周囲温度（使用環境温度）が 5 ～ 35℃ の範囲でご使用ください。
- 本製品を使用中に万一機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任・保証は負いかねます。予めバックアップをお取りになってからのご使用をお勧めします。
- 植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与える恐れがありますので、本製品のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。
- 運転の妨げになる場所や危険と思われる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動効果の妨げになる場所には取り付けしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。またフロントガラス・側面ガラスへの取り付けは保安基準に不適合となりますので絶対におやめください。

- 走行中での本製品の調整・操作、端末（スマートフォン）の操作・通話・テレビや動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。
- ご使用前に本製品がしっかりと固定されていることをご確認ください。また端末の重さに注意し、本製品の吸着レバーが確実に固定されている事をご確認ください。
- 車の急発進・急停車などの振動により本製品に装着した端末が落下・破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ケース類を装着していない端末を本製品にホールドした際、アーム部分とこすれて端末に傷がつく場合があります。予めご了承ください。
- 本製品を取り外した際、取付場所に日焼けや跡が残る場合があります。予めご了承ください。
- 発熱や発火による火災・感電・やけど等を防止するため、以下のことを必ずお守りください。
- 本製品の分解や改造はしないでください。本製品の分解や改造、または誤った取付けでのご使用等による事故・故障・破損等の損害につきましては当社では一切その責任を負いかねます。
- 本製品は電気製品ですので水に濡らしたり、濡れた手で使用しないでください。
- 高温や多湿になる場所（火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・保管しないでください。
- 本製品と端末の間に金属・液体などの異物がないことをご確認ください。
- 端末・ケーブル・USB 電源の接続端子部の変形や、導通性の異物（金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など）または液体（汗・化粧水・飲料水等）が付着した状態でのご使用は、端子間が短絡（ショート）し発熱や焦げの原因となり大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。また異変があった場合はご使用をおやめください。
- 充電する際は必ず結束バンド等を外し、コードを延ばした状態でご使用ください。束ねた状態でのご使用はコード発熱等の原因となります。
- 本製品を正常にご使用中、変形などの不具合が起きた場合は、直ちにご使用をおやめください。
- 本製品の誤った取り付け、改造してのご使用等の事故・故障・破損等や指定材質以外への取り付けによる、ダッシュボードの破損、変色、破れ等につきましては当社では一切その責任を負いかねます。